

第1章

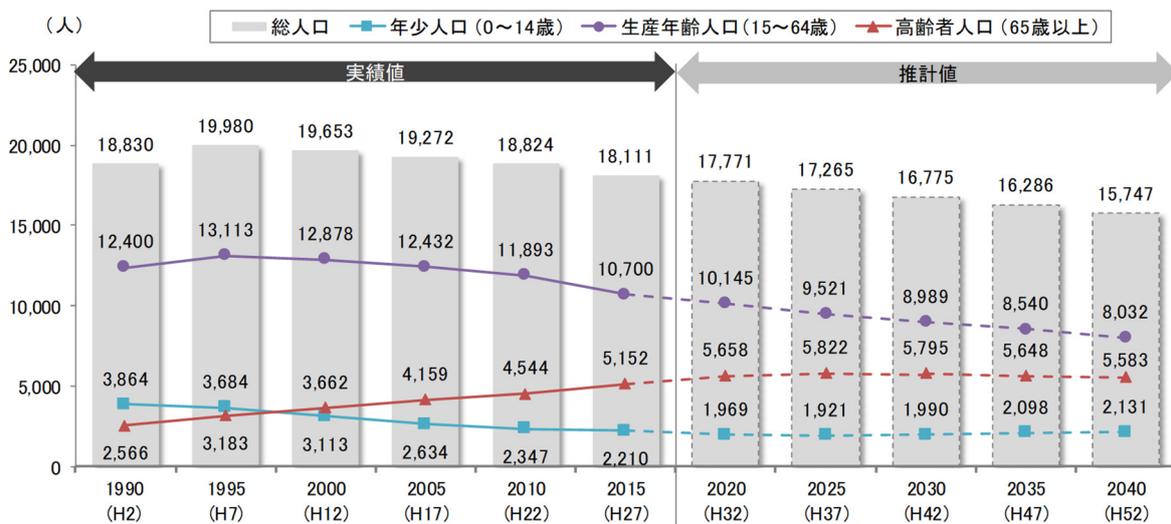
御嵩町の都市づくりを取巻く現況

第1節 人口

(1) 総人口・年齢別人口・地区別人口

人口は、1995（平成7）年の19,980人をピークに減少しており、2015（平成27）年に18,111人となっています。今後も人口減少は続き、2028（平成40）年では、およそ17,000人（2015（平成27）年の約94%）、2040（平成52）年には15,747人（2015（平成27）年の約87%）に落ち込むと見込まれます。

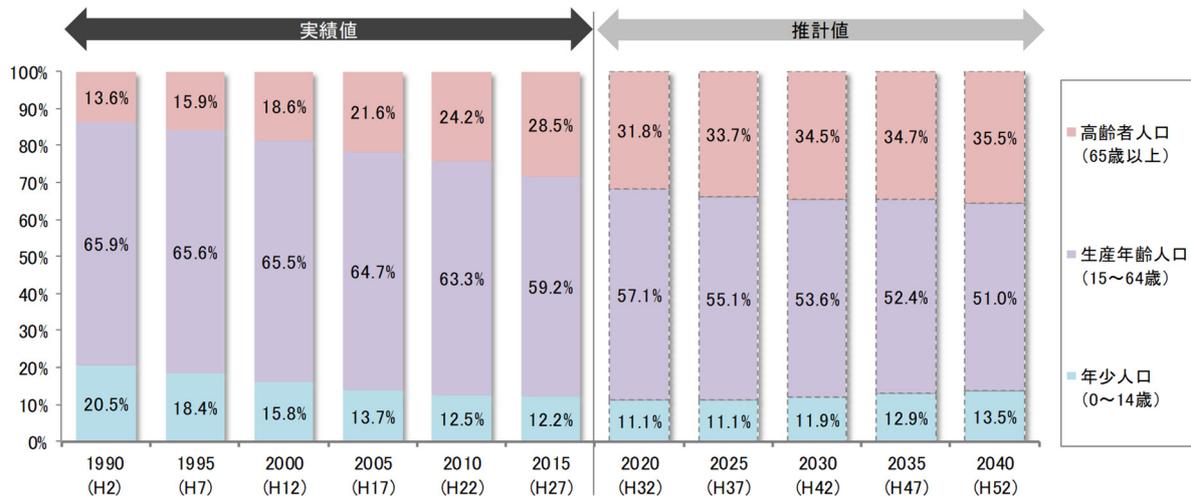
図 総人口・年齢別人口の推移



資料：国勢調査（実績値）、2015（平成27）年策定御嵩町人口ビジョン（推計値）

年齢別にみると、年少人口は減少が続いてきましたが、今後増加していき、生産年齢人口は今後も引き続き一定の割合で減少していくと見込まれます。一方、高齢者人口は一貫して増加しており、2000（平成12）年には年少人口を上回るなど、少子高齢化が進行しています。高齢化率は、1990（平成2）年から2015（平成27）年にかけて約2倍に増加しており、2040（平成52）年には人口の35.5%を高齢者が占めると見込まれます。

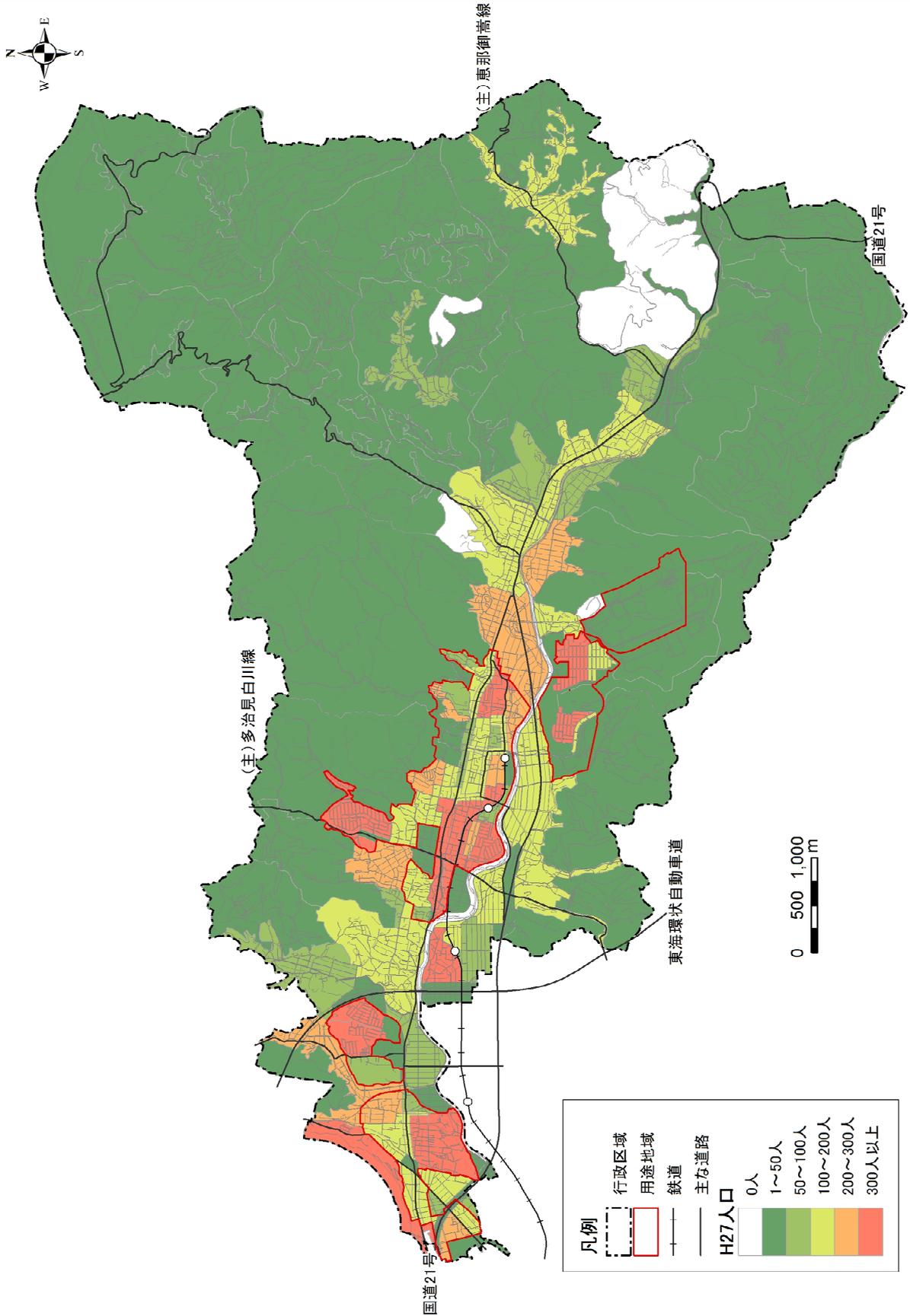
図 年齢別人口構成比の推移



資料：国勢調査（実績値）、2015（平成27）年策定御嵩町人口ビジョン（推計値）

地区別にみると、町西部と中部の用途地域内とその周辺部で人口が多く、東部の山地部で人口が少なくなっています。また、2010（平成22）年から2015（平成27）年の人口増減率をみると、用途地域内や東部の山地部で人口が減少する地区が多く、用途地域の周辺で人口が増加しています。

図 地区別人口 (2015 (平成27) 年)



資料：国勢調査、都市計画基礎調査